

令和8年度 関門港自然災害対策委員会 定例委員会

「地震・津波・台風」に関する情報

福岡管区気象台
気象防災部 次長 村方 栄真

1. 地震・津波

- ・ 地震・津波に関する防災情報
- ・ 南海トラフ地震と南海トラフ地震臨時情報

2. 台風

- ・ 台風による高潮害
- ・ 台風に関する防災情報
- ・ その他（長期的な変化傾向など）



1. 地震・津波

- 地震・津波に関する防災情報
- 南海トラフ地震と南海トラフ地震臨時情報

2. 台風

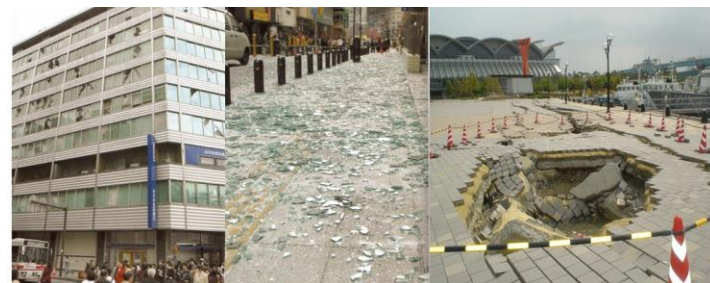
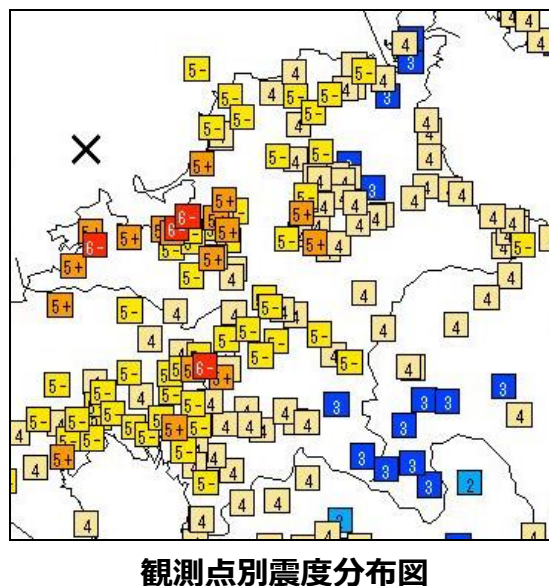
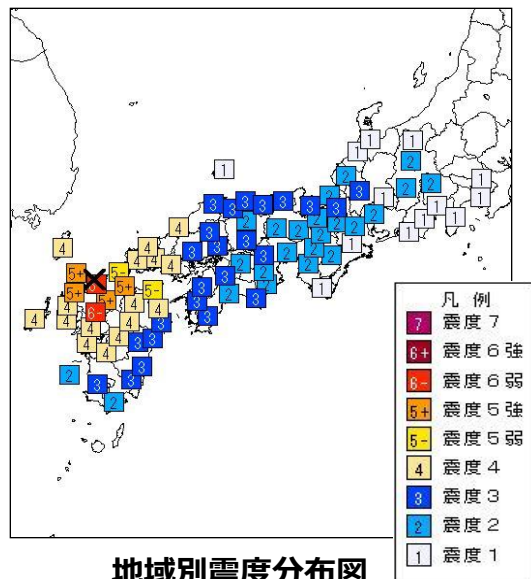
- 台風による高潮害
- 台風に関する防災情報
- その他（長期的な変化傾向など）



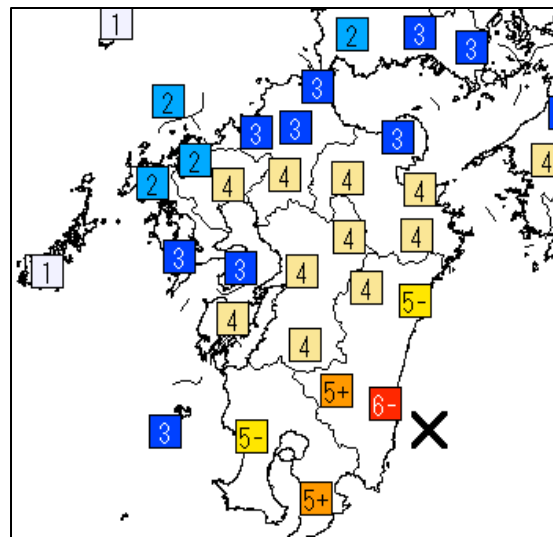
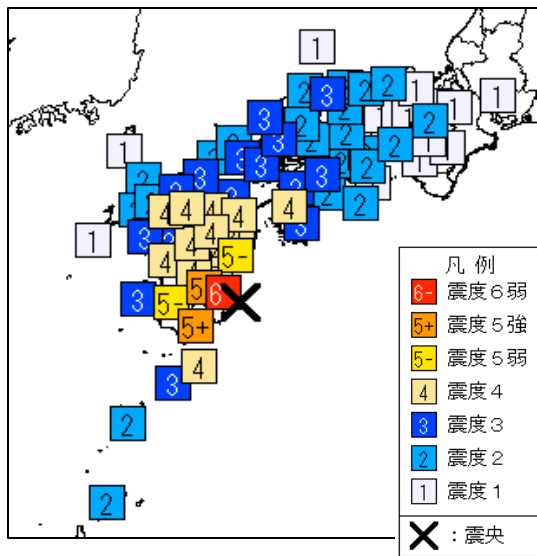
平成17年3月20日 福岡県西方沖の地震

- 平成17年3月20日10時53分にマグニチュード7.0、深さ9kmの地震が発生。福岡県福岡市や前原市（現在の糸島市）と佐賀県みやき町で震度6弱を観測したほか、関東地方から九州地方にかけて震度5強～1を観測。
- この地震により10時57分に福岡県日本海沿岸及び壱岐・対馬に津波注意報を発表し注意を呼びかけたが、津波の観測なし。

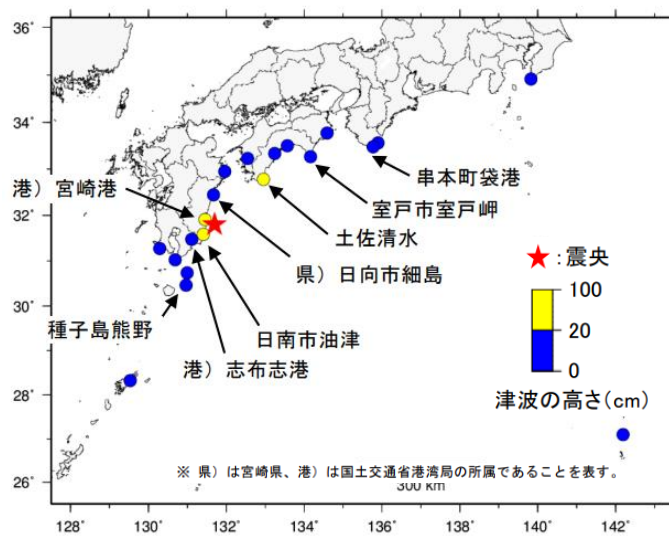
※現在の震央地名は福岡県北西沖



- 令和6年8月8日16時42分にマグニチュード7.1、深さ31kmの地震が発生。宮崎県日南市で震度6弱を観測したほか、東海地方から奄美群島にかけて震度5強～1を観測。
- この地震により16時44分に四国から九州にかけて津波注意報を発表し注意を呼びかけ。宮崎港で51cm、日南市油津で40cmなど、千葉県から鹿児島県にかけて津波を観測。
- 令和元年5月31日の運用開始以降、初めて「南海トラフ地震臨時情報」を発表。

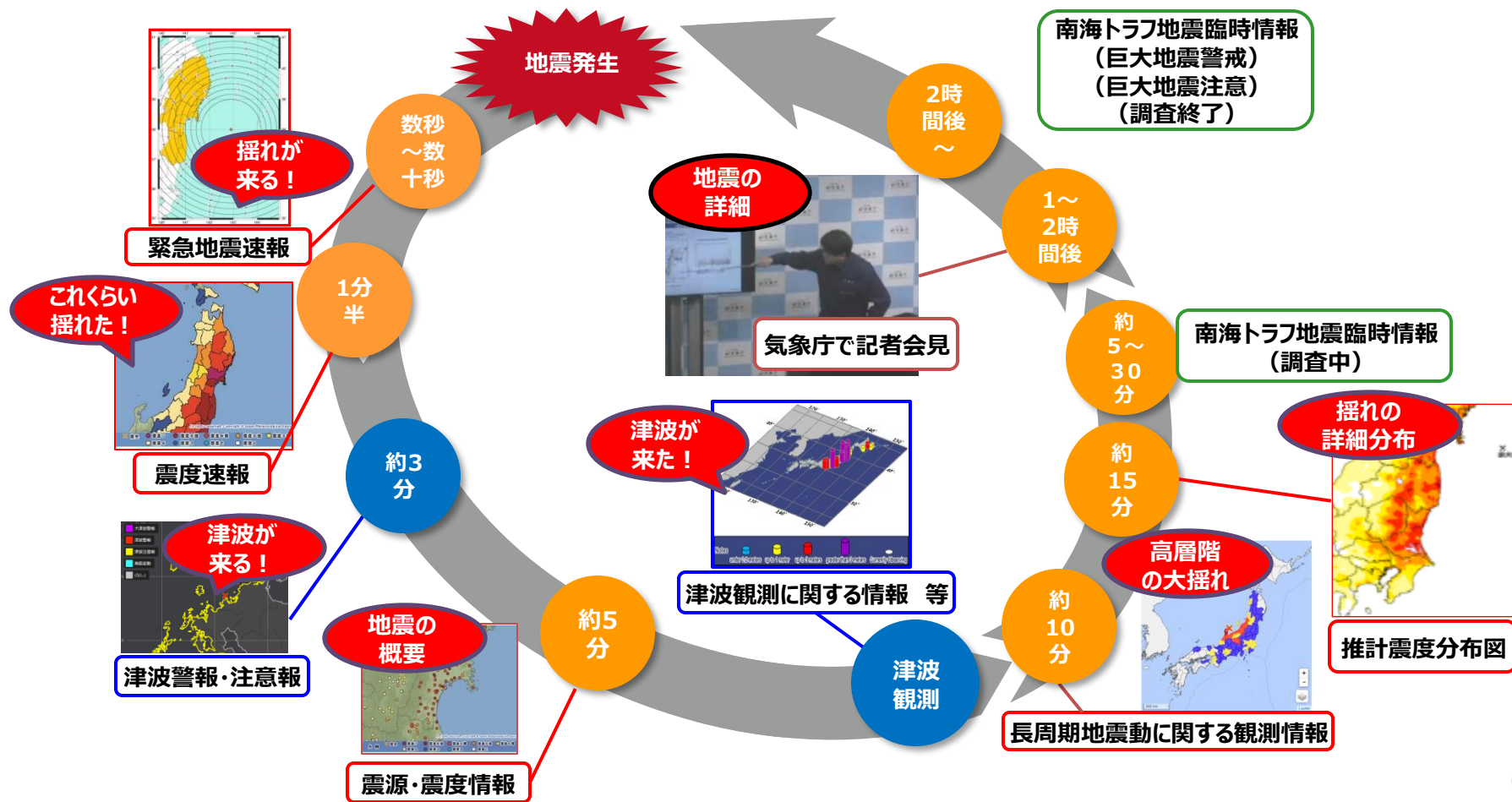


■ 震度分布図（地域別：左側広域図、右側九州付近拡大図）

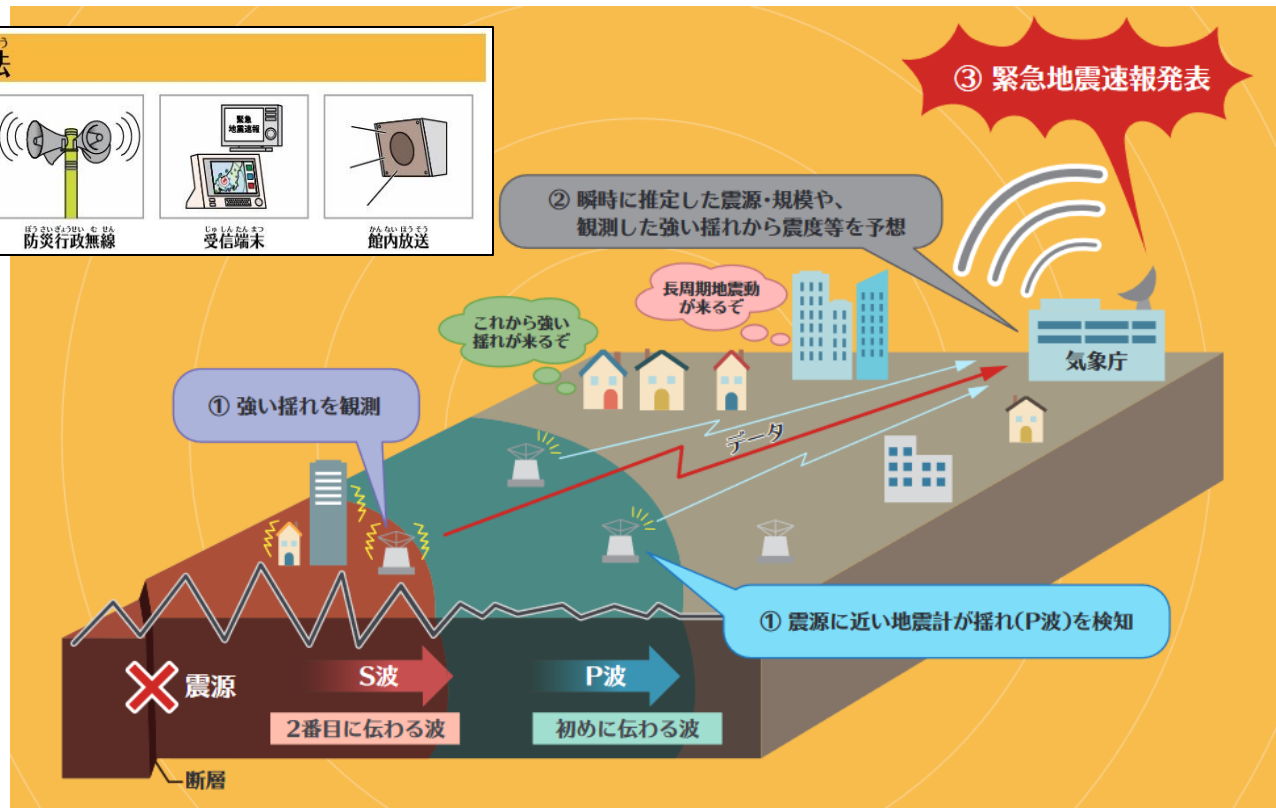


■ 津波の観測状況（暫定値）

地震・津波に関する防災情報発表の流れ



- 強い揺れ（震度 5 弱以上または長周期地震動階級 3 以上）が予想される地域及び震度 4 が予想される地域名を発表。



緊急地震速報を見聞きしたら

- 緊急地震速報は、情報を見聞きしてから地震の強い揺れが来るまでの時間が数秒から数十秒。その短い間に身を守るための行動を取る。
- 緊急地震速報を見聞きしたときの行動は、まわりの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本。



※地震速報利用者協議会制定



- 津波の高さは、通常5段階の数値で発表。
- マグニチュード8を超えるような巨大地震では、最初に発表する津波の高さは「巨大」や「高い」で発表。地震の規模が精度よく求められた時点で、津波警報・注意報を切替え、津波の高さも数値での発表に切替え

種類	発表する津波の高さ		発表基準	被害と避難の呼びかけ（★）の例	対応概要
	定性表現	数値表現 (津波の高さ予想の区分)			
大津波警報	巨大	10m 超 (10m < 予想高さ)	予想される津波の最大波の高さが高いところで 3mを超える場合	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。 ★ <u>大きな津波が襲い甚大な被害が発生します。沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってきます。警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。</u>	高台や避難ビルに避難
		10m (5m < 予想高さ ≤ 10m)			
		5m (3m < 予想高さ ≤ 5m)			
津波警報	高い	3m (1m < 予想高さ ≤ 3m)	予想される津波の最大波の高さが高いところで 1mを超え3m以下の場合	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。 ★ <u>津波による被害が発生します。沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってきます。警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。</u>	海から上がる
津波注意報	表記しない	1m (0.2m ≤ 予想高さ ≤ 1m)	予想される津波の最大波の高さが高いところで 0.2m以上1m以下の場合 であって、津波による災害のおそれがある場合	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。 ★ <u>海の中や海岸付近は危険です。海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。潮の流れが速い状態が続きますので、注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないようにしてください。</u>	

※ 大津波警報を「特別警報」に位置づけています。

- 大津波警報、津波警報、津波注意報は津波予報区単位で発表。
- 福岡県沿岸は、3つの予報区（福岡県瀬戸内海沿岸、福岡県日本海沿岸、有明・八代海）、山口県沿岸は、2つの予報区（山口県日本海沿岸、山口県瀬戸内海沿岸）に分けられる。



津波予報区の配置図（九州周辺）

福岡県

【福岡県瀬戸内海沿岸】

福岡県：苅田町、行橋市、築上町、豊前市、吉富町、北九州市（門司・小倉南）

【福岡県日本海沿岸】

福岡県：糸島市、福岡市、新宮町、古賀市、福津市、宗像市、岡垣町、芦屋町、北九州市（若松・戸畑・小倉北）

【有明・八代海】

福岡県：大牟田市、みやま市、柳川市

佐賀県：佐賀市、小城市、白石町、佐賀鹿島市、太良町

長崎県：諫早市（有明海沿岸）、雲仙市（有明海沿岸）、南島原市（有明海沿岸）、島原市

熊本県：八代市、芦北町、津奈木町、水俣市、氷川町、宇城市、宇土市、熊本市、玉名市、長洲町、荒尾市、上天草市、天草市（有明・本渡・新和・栖本・倉岳・御所浦）

山口県

【山口県瀬戸内海沿岸】

山口県：和木町、岩国市、柳井市、周防大島町、上関町、平生町、田布施町、光市、下松市、周南市、防府市、山口市、宇部市、山陽小野田市、下関市（瀬戸内海沿岸）

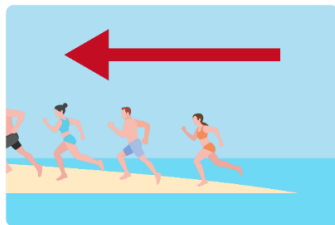
【山口県日本海沿岸】

山口県：下関市（日本海沿岸）、長門市、萩市、阿武町

- 海岸近くで大きな揺れや弱くても長い揺れを感じた場合には、**警報の発表を待つことなく、ただちに高いところへ避難**する等の行動を取ることが、津波から自分自身の命を守る最善の方法。

大きな揺れ、津波警報などですぐ避難！

海から離れる



- ・絶対に海を見に行かない
- ・津波警報などの発表時は戻らない

ただちに高い場所へ



- ・避難所ではなく**避難場所**へ
- ・日頃から**避難場所**の確認を

車は使わない



- ・渋滞に巻き込まれる懸念
- ・原則、徒歩で避難を

Yahoo! ニュース

オリジナル

監修：気象庁

(参考) 長周期地震動による被害

長周期地震動：大きな地震が発生したときに生じる周期（1往復するのにかかる時間）が長い揺れのこと



2011年東北地方太平洋沖地震のときの
東京都内のビルの室内の様子（工学院大学提供）

- ・ 高いビルでは、長周期地震動による大きな揺れにより、家具等が倒れたり、落ちたり、移動する。（免震の建物は低くても影響を受ける可能性あり）
- ・ 天井の落下、スプリンクラーの故障、エレベータの障害などが過去の地震で起きている。

- 概ね14、15階建以上の高層ビルを対象
- 高層ビルでの長周期地震動による揺れの大きさは、震度では分からない。
- 地震時の人の行動の困難さの程度や、家具や什器の移動・転倒などの被害の程度から4つの階級に区分した「長周期地震動階級」を地震発生から10分で発表。



緊急地震速報
(警報) は階級3以上を
予想した場合に発表

1. 地震・津波

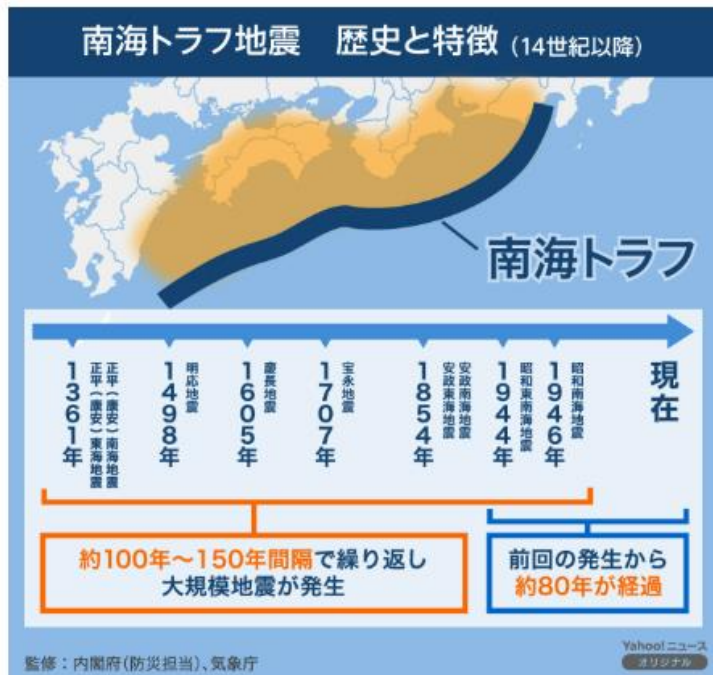
- ・ 地震・津波に関する防災情報
- ・ 南海トラフ地震と南海トラフ地震臨時情報

2. 台風

- ・ 台風による高潮害
- ・ 台風に関する防災情報
- ・ その他（長期的な変化傾向など）



- 南海トラフ地震は駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域とした大規模地震。
- 概ね100～150年間隔で繰り返し発生、前回の南海トラフ地震が発生してから80年程度経過。
- 次の南海トラフ巨大地震発生の切迫性が高い状態。



1854年 安政東海地震 M8.6

↓ 約32時間後

1854年 安政南海地震 M8.7

地震は一度では終わらないかも！

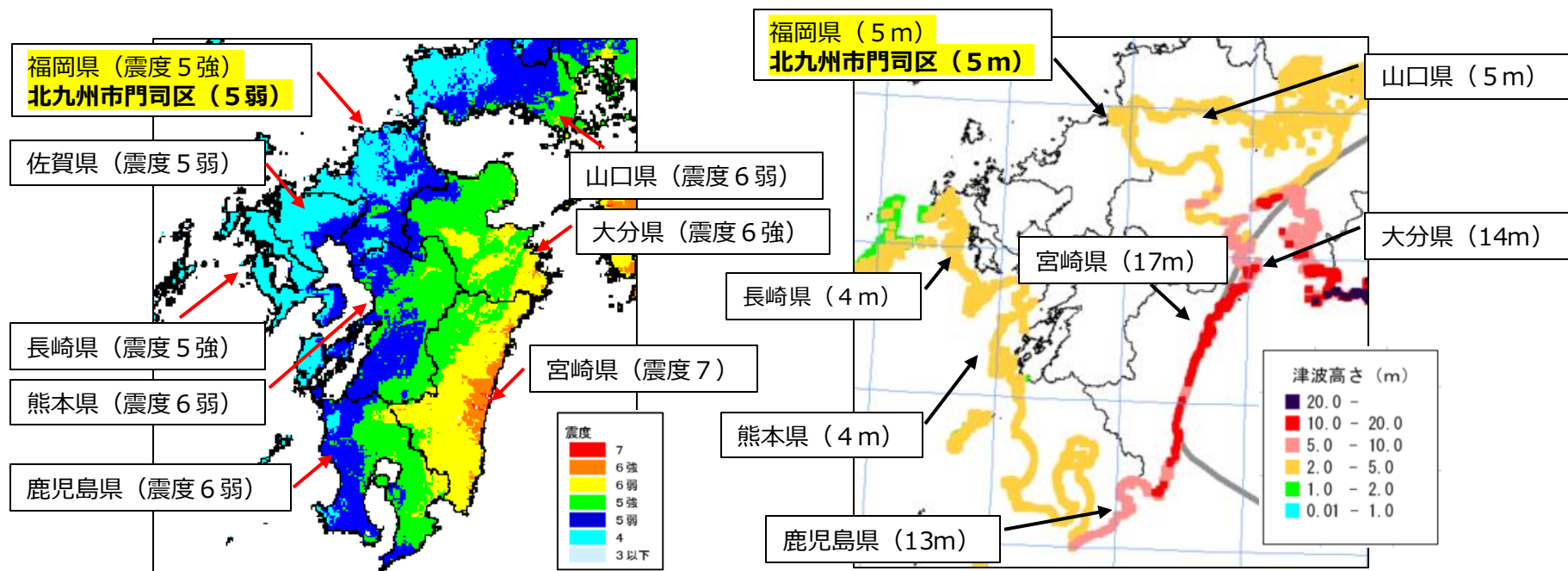
1944年 昭和東南海地震 M8.2

↓ 約2年後

1946年 昭和南海地震 M8.4

南海トラフ地震で想定されている震度・津波

- 九州・山口県では宮崎県では震度 7、福岡県では震度 5 強、北九州市門司区で震度 5 弱の想定。
- 津波の高さは、太平洋沿岸で 10m 超、福岡県北九州市門司区では 5m の想定。

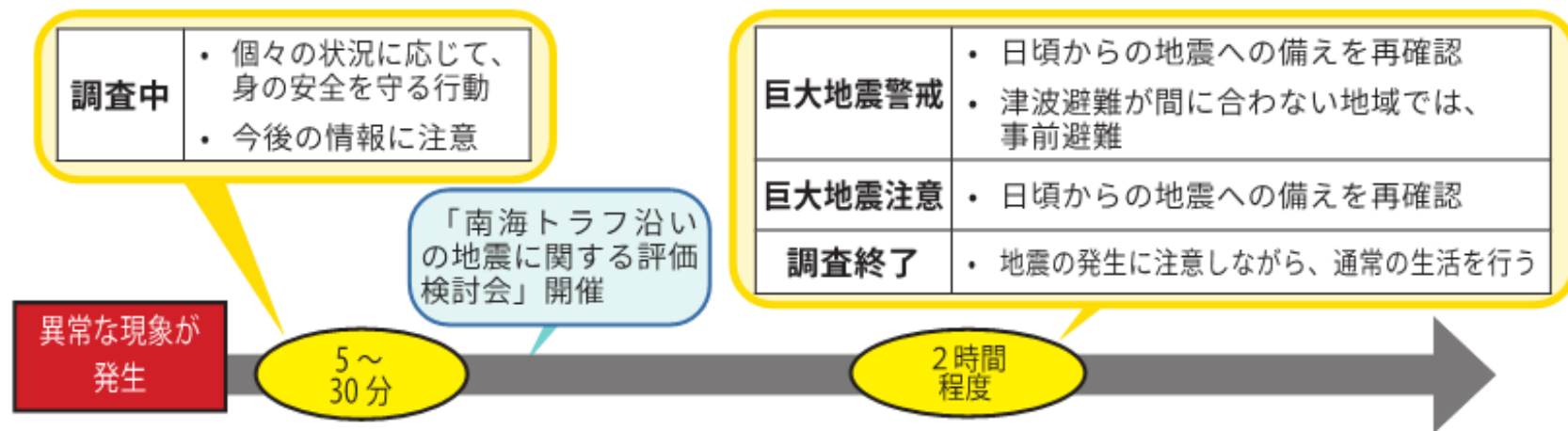


「南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ報告書説明資料」(中央防災会議, 2025) を加工して作成

南海トラフ地震 臨時情報

発表条件

- 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
- 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合





令和6年8月8日
巨大地震注意を発表！

8月8日16時42分 地震発生
日向灘 マグニチュード7.1

8月8日17時00分
南海トラフ地震臨時情報(調査中) 発表

※ 8月8日17時30分 評価検討会開催

8月8日19時15分
南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意) 発表

※8月8日19時15分
政府からの特別な注意の呼びかけ開始

※8月15日17時00分
政府からの特別な注意の呼びかけ終了

南海トラフ地震臨時情報の発表時の行動

地震発生から 最短2時間後	南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震警戒)	南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震注意)	南海トラフ地震臨時情報 (調査終了)
(最短) 2時間程度	- 日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備 - 地震発生後の避難では間に合わない可能性のある住民は事前避難 	日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備 	大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。 
1週間(※)	日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備	大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。 	
2週間	大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。		

※ 通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合は、すべりの変化が収まってから変化していた期間と概ね同程度の期間が経過したときまで

1. 地震・津波

- 地震・津波に関する防災情報
- 南海トラフ地震と南海トラフ地震臨時情報

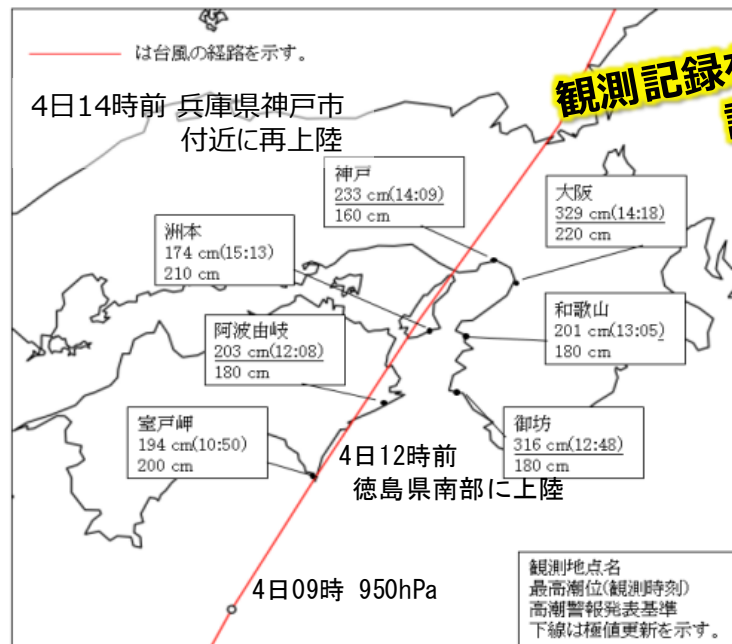
2. 台風

- 台風による高潮害
- 台風に関する防災情報
- その他（長期的な変化傾向など）

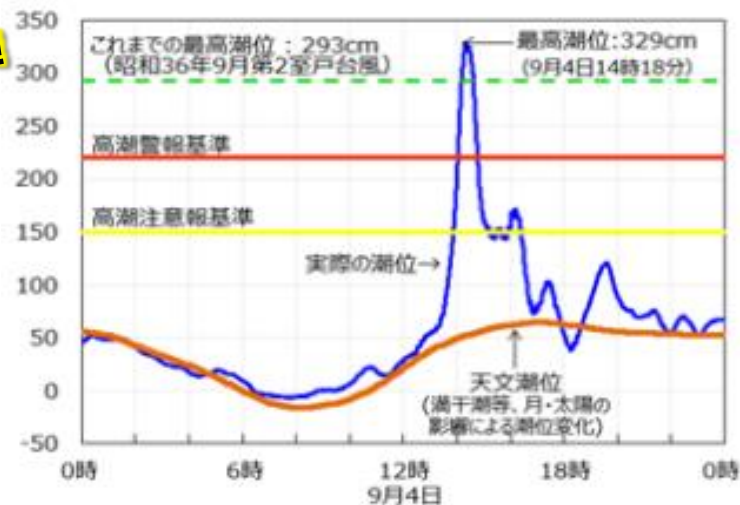


平成30年台風第21号による高潮害等

- 台風第21号は、9月4日12時前に非常に強い勢力で徳島県南部に上陸。
- 西日本から北日本にかけて非常に強い風、非常に激しい雨。
- 特に四国地方や近畿地方では猛烈な風や記録的な高潮となり、浸水害が発生。



観測記録を更新する
記録的な高潮！



9月4日の潮位の推移 (大阪検潮所)

9月4日の各地の最高潮位及び潮位の推移

平成30年台風第21号による被害



高潮被害（神戸市より提供）
左：車両流出 右：道路冠水

【主な被害】（内閣府 平成30年10月2日17時）

- ・ 死者14人、重傷46人、軽傷897人
- ・ 住家全壊26棟、半壊189棟、一部損壊50,083棟
- ・ 床上浸水66棟、床下浸水505棟

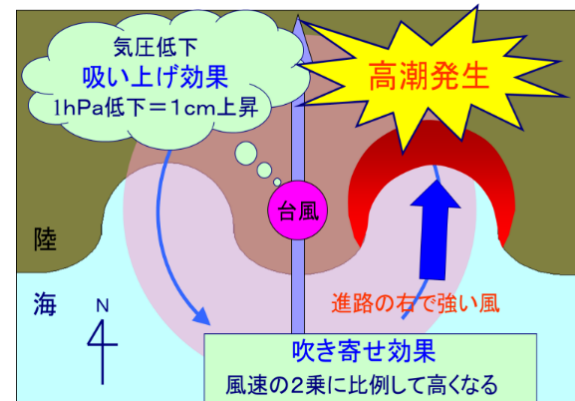
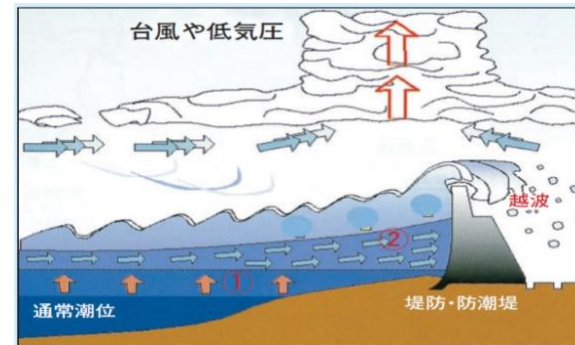
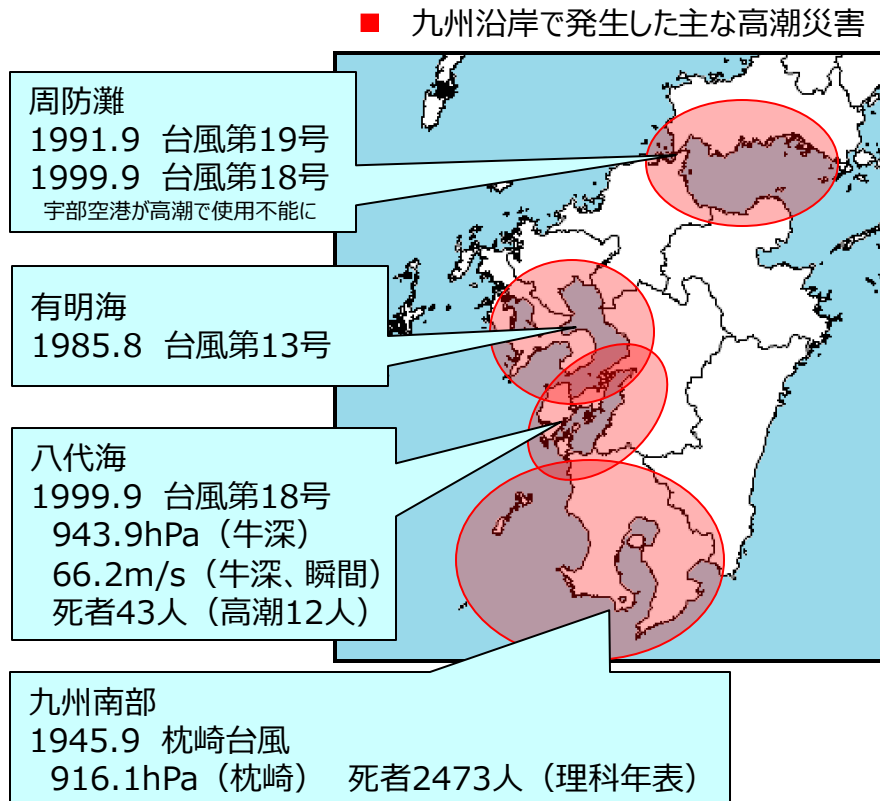


関西空港の連絡橋に衝突したタンカー
（国土交通省近畿地方整備局HP）

【被害状況】

浸水・冠水、防波堤損壊、護岸損壊、パラペット破損、
コンテナ散乱・火災・海上流出、車両浸水・流出、中古車火災、
フェリーターミナル人道橋破損、連絡橋通行止め、
船舶乗り上げ、船舶の漂流・漂着、
交通障害、断水、停電、電話不通 等々

- 気圧低下による吸い上げ効果及び風の吹き寄せ効果により、湾奥部や低地での被害が多い。



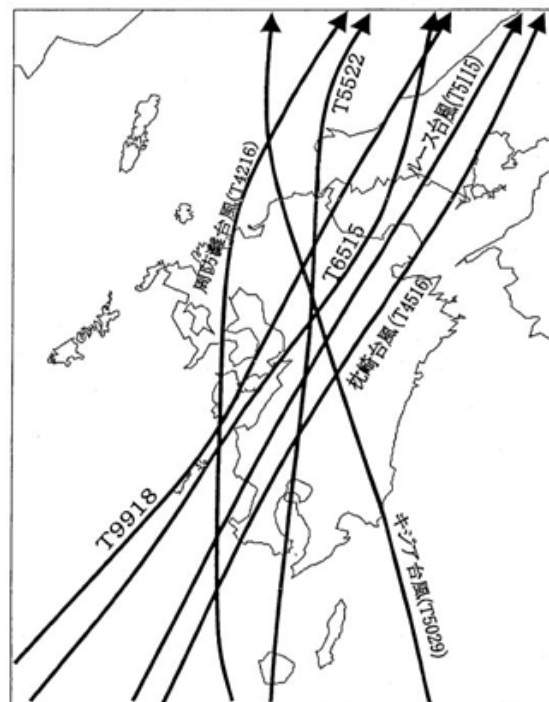
周防灘における高潮発生時の台風経路

- 福岡県では、有明海に南よりの風が吹くとき、周防灘に東よりの風が吹くとき、玄界灘に西～北風が吹くときは、高潮の発生するおそれがある。

周防灘西岸の最大潮位偏差 (cm)

年 月 日	台 風 名	地 名		
		青 浜	荻 田	宇ノ島
1942. 8. 27	周防灘台風	166	150	76
1945. 9. 17	枕崎台風		129	
1950. 9. 13	ギジア台風	131		
1951. 10. 15	ルース台風	124	115	103
1955. 9. 30	台風第 22 号		147	121
1965. 8. 6	台風第 15 号	134		
1999. 9. 24	台風第 18 号	201	219	

周防灘に高潮害が発生した時の台風経路



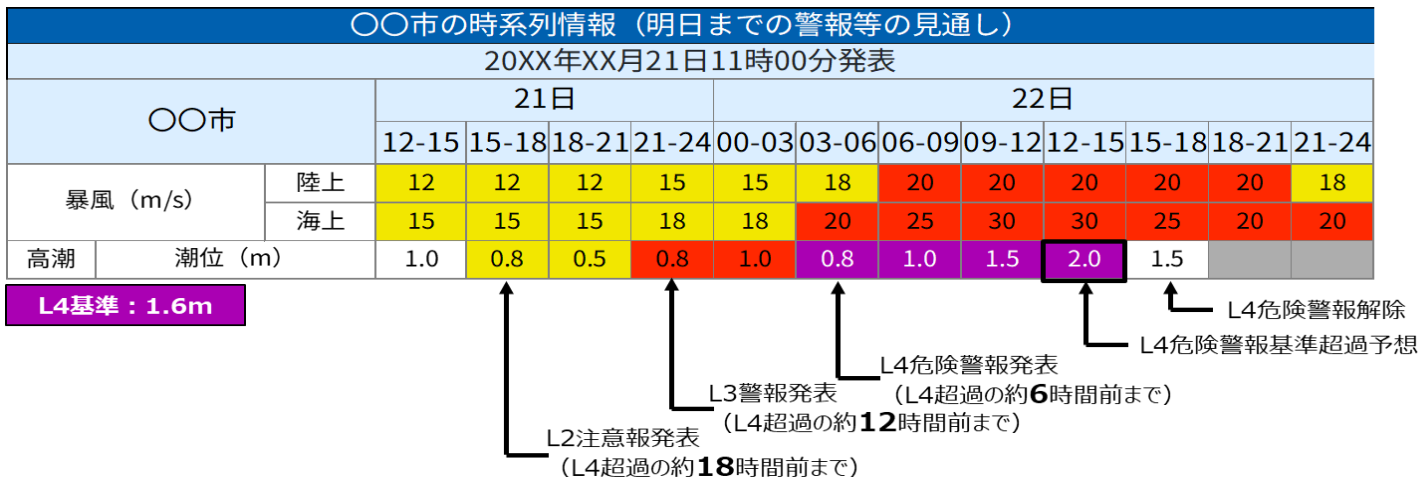
(T××○○は、19××年台風○○号を示す)

高潮に関する情報の主な変更点

- **高潮特別警報は発表基準を変更して警戒レベル5相当情報として運用**（これまでの台風を要因とする高潮特別警報の運用はなくなり、レベル5相当の基準を新たに設定して運用）
- **警戒レベル毎に情報体系を整理し、避難行動との関係を明確化。**
レベル5高潮特別警報は緊急安全確保、レベル4高潮危険警報は避難指示発令のトリガー情報を想定。
- レベル4相当、レベル3相当、レベル2の情報は、**浸水被害のおそれがある状況からリードタイムをとって発表する運用に変更。レベル3高潮警報、レベル2高潮注意報の基準はなくなる。**
- 高潮により国民経済上重大な損害を生ずるおそれがあるものとして国土交通大臣が新たに指定した海岸（高潮予報海岸）では、国土交通省・都道府県・気象台が共同発表する情報とし、波の打上げの効果も加味した情報に高度化する。

（注）現在は高潮注意報で行っている低地での軽微な浸水被害に対する注意喚起は、新たな情報体系では扱わず、今後は高い潮位、大潮等に関する「気象解説情報」で対応

災害に関する立退き避難に必要となる時間（リードタイム）については、高潮が発生する際は台風等の接近時に伴い暴風となっている状況が想定されることから、長めのリードタイムになっている。



1. 地震・津波

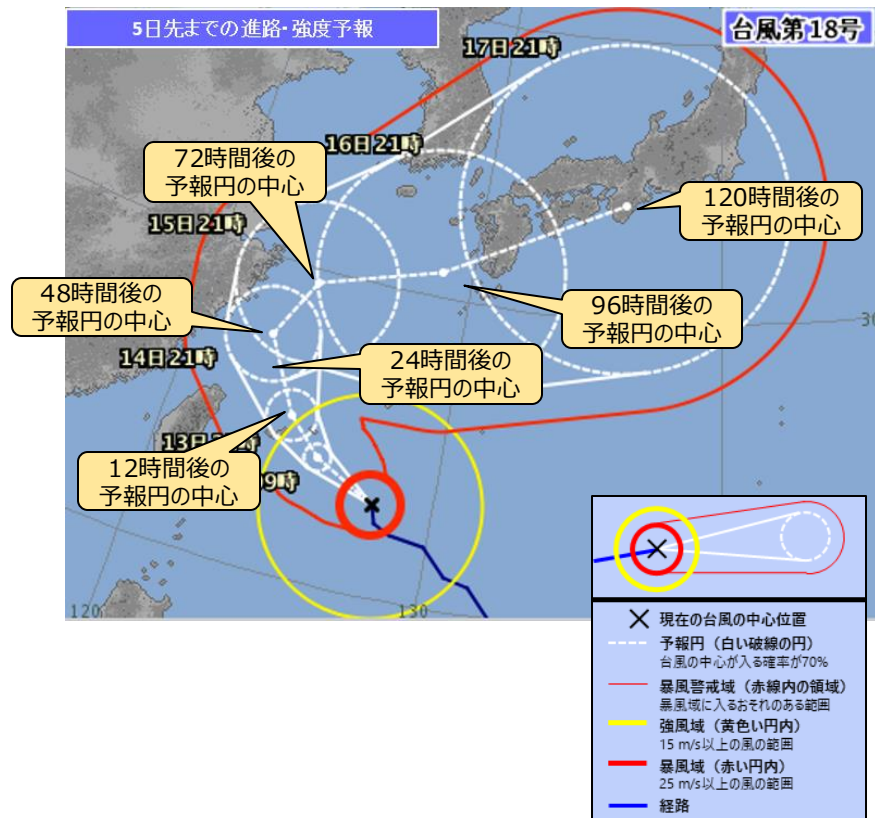
- 地震・津波に関する防災情報
- 南海トラフ地震と南海トラフ地震臨時情報

2. 台風

- 台風による高潮害
- 台風に関する防災情報
- その他（長期的な変化傾向など）



- 台風および24時間以内に台風になると予想される熱帯低気圧の実況と5日先までの予報等を表示



福岡県の暴風警報基準は、
20m/sなので、暴風域に入らなくても
暴風警報は発表される。

暴風域：最大風速25メートル以上
強風域：最大風速15メートル以上

予報円：
台風が中心が到達すると予想される範囲で、円内に台風
の中心が入る**確率は70%**

暴風警戒域：
台風が中心が予報円内を進んだ場合に、暴風域に入るお
それのある範囲

※予報円の中心を結んだ点線は、
台風が進むおおよそのコースを示すも
ので、**必ずしもこの線に沿って進む
わけではない。**



↑ 台風情報

◆大きさの階級分け

階級	風速15m/s以上の半径
大型	500km以上～800km未満
超大型	800km以上

◆強さの階級分け

階級	最大風速
強い	33m/s以上～44m/s未満
非常に強い	44m/s以上～54m/s未満
猛烈な	54m/s以上

- ※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。
 ※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。
 ※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html

平均風速 (m/s) およその時 速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木の 様子	建造物	およその 瞬間風速 (m/s)
20～25 ～約90km/h	何かにハマってられ ない、立ち回れられ ない、飛来物によつて負傷 するおそれがある。		屋根瓦・屋根裏材が 飛散するものがある。 固定されていないプレ ハビ/屋が移動、転 倒する。	30
25～30 ～約110km/h		細い木の幹が折れたり 根の張っていない木が 倒れ始める。看板が落 下・飛散する。道路標 識が壊れる。		40
30～35 ～約125km/h			養生の不十分な仮設 足場が崩落する。	50
35～40 ～約140km/h	走行中のトラックが横 転する。		外装材が広範囲にわ たって飛散する。	60
40～ 約140km/h～		多くの樹木が倒れる。 電柱や街灯で倒れる ものがある。ブロック壁で 倒壊するものがある。	住家で倒壊するものか がある。鉄骨構造物で 変形するものがある。	

- 警報級の現象が5日先までに予想されている場合は、警報級の可能性を〔高〕〔中〕の2段階で発表。
- 大雨、土砂災害、高潮に関して〔高〕又は〔中〕が予想されている場合は警戒レベル1の情報。台風接近時は、大雨、土砂災害、暴風、波浪、高潮の警報級の可能性に注目。

心構えを一段高める！

全国 ▶ 福岡県 ▶ 北九州市の早期注意情報

福岡県北九州地方の早期注意情報（警報級の可能性）											
2026年06月19日05時 福岡管区気象台 発表											
北九州地方では、20日までの期間内に、大雨、土砂災害警報を発表する可能性がある。											
福岡県北九州地方	19日			20日				21日		22日	23日
警報級の可能性	06-12	12-18	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24		
大雨	-	-	-	〔中〕	〔中〕	-	-	-	-	-	-
土砂災害	-	-	-	〔中〕	〔中〕	〔中〕	〔中〕	-	-		
暴風(雪)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
波浪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高潮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■ 〔高〕 ■ 〔中〕

全国

鹿児島県（奄美地方除く）

屋久島町の警報・注意報

警戒レベル4相当情報発表中

気象庁ホームページ：
気象警報・注意報 コンテンツから見たい市町村を選択

屋久島町の警戒レベル相当情報（発表状況）			
2026年06月19日05時40分更新			
屋久島町	大雨	土砂災害	高潮
レベル5相当			
レベル4相当		レベル4土砂災害危険警報	
レベル3相当			
レベル2	レベル2大雨注意報		

屋久島町の警報・注意報（発表状況）	
2026年06月17日21時55分更新	
屋久島町	警報・注意報
特別警報	
警報	
注意報	雷注意報

要素： 全て 大雨・土砂災害・高潮 その他 警戒レベル： 全て 注意報級以上

【！】 警報が発表されています。最新の警報の発表状況やキキルなどをあわせて確認し、必要な行動をとってください。

屋久島町の時系列情報（明日までの警報等の見通し）																
2026年06月19日05時00分発表																
屋久島町	地域	19日						20日						21日		備考・関連する現象
		06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	
1時間最大雨量 (mm)		40	20	10	10	10	5	0	0	0	0	0	0	3	10	
2 4時間最大雨量 (mm)		50						20								
大雨																
土砂災害																
最大風速 (m/s)	陸上	8 ↙	8 ↙	9 ↙	8 ↙	7 ↙	7 ↙	8 ↙	10 ↙	12 ↙	12 ↙	12 ↙	12 ↙	10 ↙	10 ↙	
	海上	8 ↙	8 ↙	9 ↙	8 ↙	7 ↙	7 ↙	8 ↙	10 ↙	12 ↙	12 ↙	12 ↙	12 ↙	10 ↙	10 ↙	
6時間最大降雪量 (cm)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2 4時間最大降雪量 (cm)		0						0								
雪																
波浪 (m)		1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2	2	2.5	2.5	2.5	
高潮	潮位 (m)	0.9	1.0	0.4	-0.4	0.6	0.9	0.8	0.1	0.7	0.8	0.6	-0.3	0.4	0.8	
雷																突風
融雪																
濃霧	陸上															
	海上															
着氷																
着雪																
乾燥	実効湿度 (%)															
	最小湿度 (%)															
なだれ																
低温																
霜																

気象庁ホームページ：時系列情報 コンテンツから見たい市町村を選択

1. 地震・津波

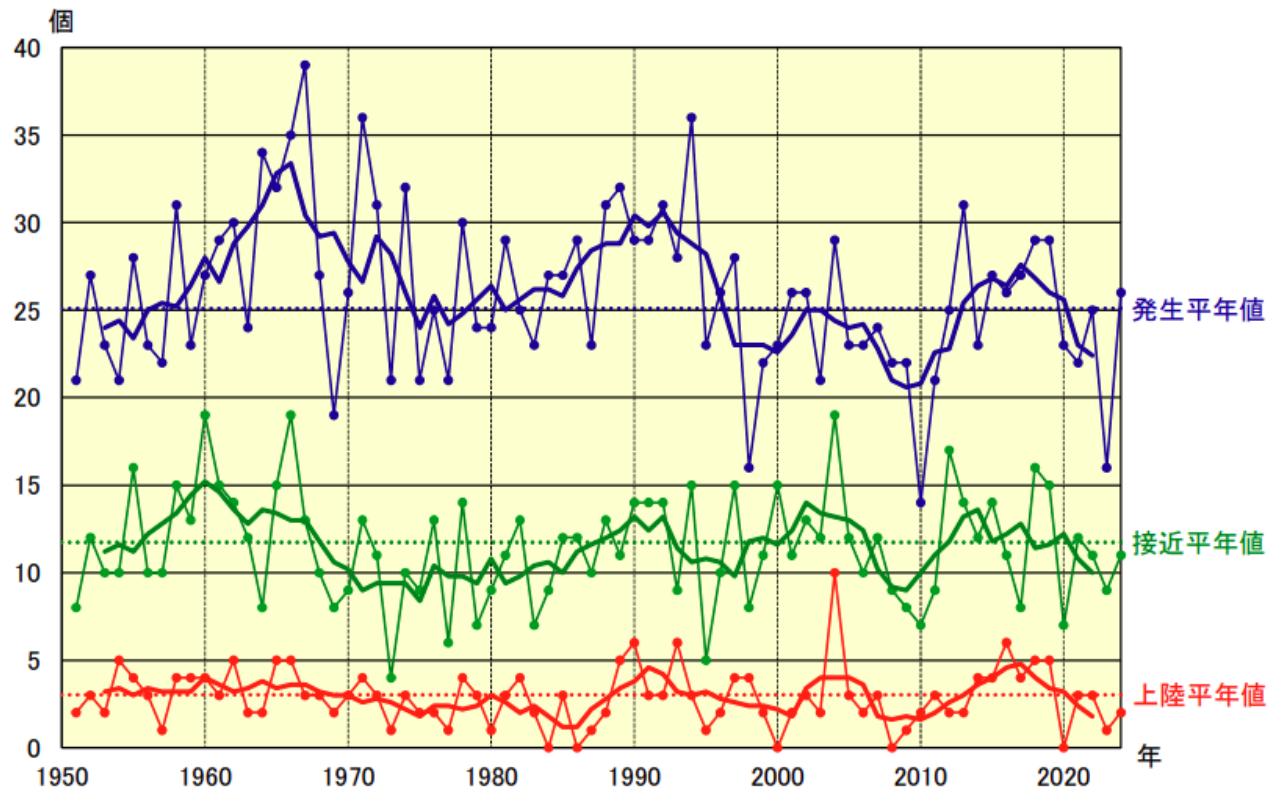
- 地震・津波に関する防災情報
- 南海トラフ地震と南海トラフ地震臨時情報

2. 台風

- 台風による高潮害
- 台風に関する防災情報
- その他（長期的な変化傾向など）



- 台風の発生数、日本への接近数に長期的な変化傾向は確認できない。



21世紀末の日本は、20世紀末と比べ...

年平均気温が約1.4℃/約4.5℃上昇



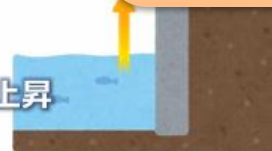
猛暑日や熱帯夜はますます増加し、
冬日は減少する。

日本近海の平均海面水温が
約1.13℃/約3.45℃上昇



世界平均よりも上昇幅は大きい

沿岸の海面水位が
約0.40m/約0.68m上昇



降雪・積雪は減少

雪ではなく雨が降る。
ただし大雪のリスクが
低下するとは限らない。



激しい雨が増える

日降水量の年最大値は
約12% (約13 mm) / 約27% (約28 mm) 増加。
50 mm/h以上の雨の頻度は 約1.8倍/約3.0倍に増加。



参考文献

3月のオホーツク海海氷面積は
約32%/約78%減少



【参考】4℃上昇シナリオでは、
21世紀末までには夏季に北極海の海氷が
ほとんど融解すると予測されている (IPCC, 2021)。

日本周辺海域においても
世界平均と同程度の速度で
海洋酸性化が進行

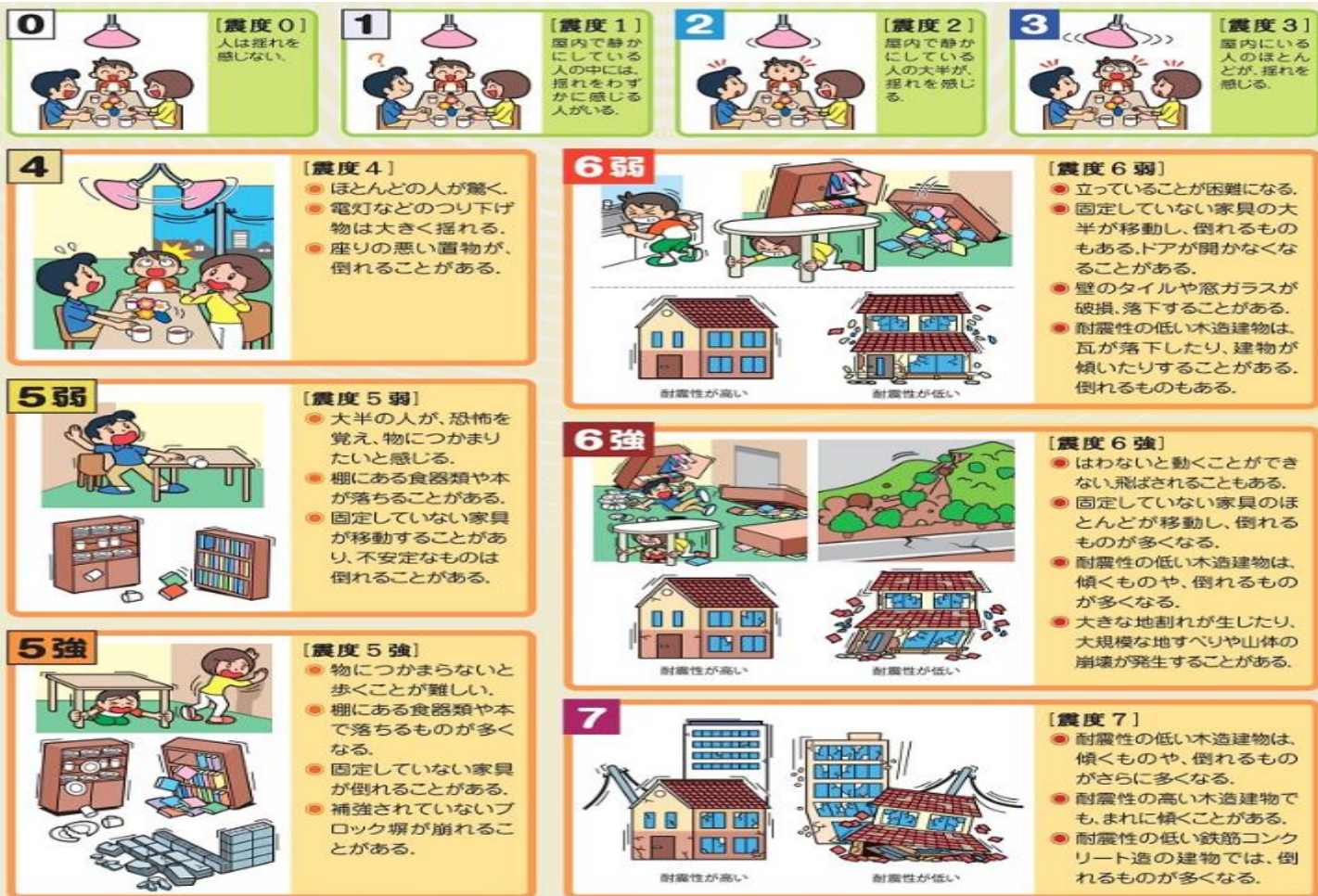


日本の気候変動の観測成果と将来予測の最新の知見を掲載した「**日本の気候変動2025**（文部科学省、気象庁）」

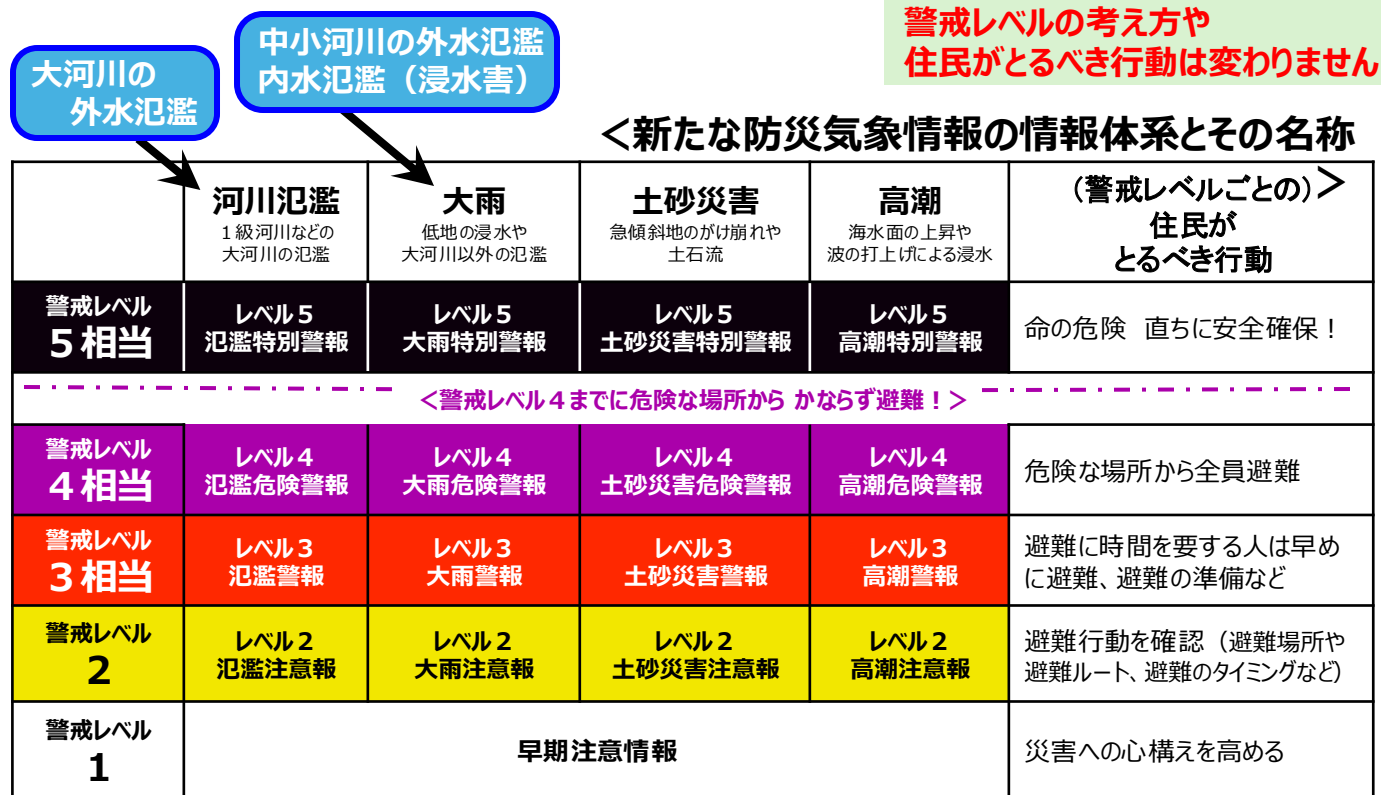
ご清聴、ありがとうございました

参考資料

震度と揺れの状況 (概要)



- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表します。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設します。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表します。**（例：レベル4大雨危険警報 等）



時系列情報（明日までの警報等の見通し）

- 令和8年度の新たな防災気象情報の運用開始に合わせ、新たに「時系列情報（明日までの警報等の見通し）」を提供します。
- 時系列情報は、警報・注意報に先立って気象の見通しを二次細分区単位（+山地等の分割地域）で提供する予測情報です。
 - 警報・注意報の発表に関わらず、時系列情報の対象とする全要素※について、翌日までの3時間毎または日毎の気象状況の見通しを、毎日4回（05時、11時、17時、23時）提供
 ※対象要素：大雨、土砂災害、風、波、高潮、雷、乾燥、大雪、融雪、濃霧、着氷、着雪、なだれ、低温、霜
 （下線部の要素は日毎の見通しを提示）
 - 気象庁ホームページでは常時表示、定期的に更新（上記の4回）
 - 定期的な更新以外にも、当初の想定から今後の見通しが大きく変わった場合などには、必要に応じて臨時に修正情報を発表（気象庁ホームページの時系列情報も更新）

時系列情報のイメージ



■ 災害切迫	特別警報基準を超えると予想される時間帯
■ 危険	危険警報基準を超えると予想される時間帯（土砂災害、高潮については、危険警報発表の可能性のある時間帯）
■ 警戒	警報基準を超えると予想される時間帯（土砂災害、高潮については、警報発表の可能性のある時間帯）
■ 注意	注意報基準を超えると予想される時間帯（高潮については、注意報発表の可能性のある時間帯）

「高潮」において、潮位（高潮予報海岸では水位も）の量的な予想が記載される

段階的に発表される防災気象情報について



災害への心構えを

早期注意情報（警報級の可能性）

	1日	2日				3日	4日	5日	6日
警報級の可能性	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24		
大雨	[中]	[高]	[高]	[中]	-	-	-	-	-
土砂災害	[中]	[高]	[高]	[高]	-	-	-	-	-

- ・線状降水帯半日前予測
- ・大雨に関する情報等

気象解説情報

時系列情報（明日までの警報等の見通し）

事前の備えや体制準備に活用

地域	1日		2日								3日
	18-21	18-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	
1時間最大降水量	30	30	40	50	70	70	30	5			
24時間最大降水量	250										
	200										
大雨											
土砂災害											

警戒レベル相当情報・ その他の注意報・警報・特別警報

- ・線状降水帯発生
- ・線状降水帯直前予測
- ・記録的短時間大雨等

災害対応等を迅速に実施できるよう、
対応のトリガー情報として活用

キャンセル

気象防災速報

線状降水帯に関する各種情報

半日前予測

直前予測

発生情報



今回の説明内容をはじめ、新しい防災気象情報の説明や普及啓発ツールは、気象庁HPの新しい防災気象情報の特設サイトをご利用ください。

国土交通省 気象庁
Japan Meteorological Agency

ホーム 防災情報 各種データ・資料 地域の情報 知識・解説 各種申請・ご案内

ホーム > 新たな防災気象情報について (令和8年～)

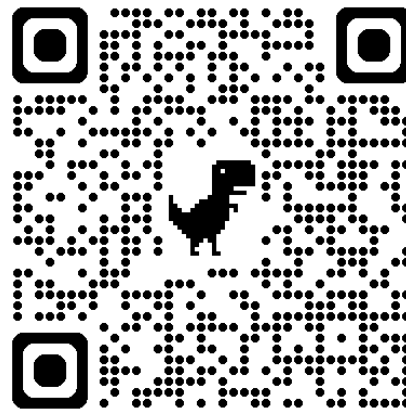
新たな防災気象情報について(令和8年～)

令和8年5月下旬より
気象の警報などが大きく変わります

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

● 警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます

● 河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります（特別警報の新設など）



<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/keiho-update2026/index.html>

<福岡管区気象台HPからもアクセスできます> ピックアップ情報 ⇒ 新たな防災気象情報の運用について



クリック



新たな防災気象情報の運用について ～令和8年の大雨時期から防災気象情報が生まれ変わります～

令和8年5月下旬（予定）より気象の警報などが大きく変わります。

新たな防災気象情報は、情報名に警戒レベルの数字を付記するなど、市町村が発令する避難指示等の避難情報や住民がとるべき避難行動との関係が分かりやすくなります。詳細は特設サイトをご覧ください。

